

「みる」スポーツ, 「ささえる」スポーツに必要な機能について (各委員の意見聴取結果)

1 「みる」スポーツに必要な機能

○全国・国際大会の誘致を見据え, 他県にない優位性の確保

- ・観客の視点からの立地, 座席, 最先端の映像・音響設備, トイレ, エントランス, 飲食, 土産, 施設内の外国語表記, Wi-Fi環境の整備など
- ・選手の視点からの関係者動線, 更衣室の質の確保など
- ・大会運営者の視点からの立地, 搬入搬出, 関係者諸室, テレビブース, 回線, 飲食, 関係者接遇空間の整備など
- ・障害者に配慮した観客席の整備 (サイトラインの確保, 複数の観覧スペースの確保), 車椅子が乗り降りしやすいエレベーターの設置など

2 「ささえる」スポーツに必要な機能

○市町村では対応が難しい機能の整備

- ・R&Dの拠点として, 鹿屋体大と連携したスポーツ科学の研究・提供機能 (鹿屋体大のサテライト的な機能, 生理学, バイオメカニクス, トレーニング, 栄養に関する情報提供など) の検討
- 「高校・大学連携機能」として, 大会のない期間に, 研究や実習の場としての活用
- ・スポーツ関係者の交流・ネットワーク拠点機能 (大会期間外も含めたスポーツ関係者の総合支援拠点)

- ・スポーツ指導者（例：部活動指導員，障害者スポーツ指導者）の養成拠点機能
- ・スポーツ情報発信機能（スポーツ博物館，ライブラリー機能）
- ・気軽にスポーツ体験ができる機能（体力測定室，トレーニング室，ランニングコース）
- ・若者がスポーツに関心を持てる仕組みづくり（例：ニュースポーツ）
- ・スポーツ合宿にも対応できる施設

3 その他

○施設の財政的な持続可能性にも寄与する機能の担保

- ・健康増進（ヘルス）サービス機能（ウェルネス情報発信等）
- ・本県の食・水・温泉等の展示・体験ができる機能

○その他

- ・想定される災害にも対応できる施設
- ・ユニバーサルデザインにも配慮した施設（車椅子利用者用のスロープの設置など）
- ・競技者以外でも気軽に来場できる仕組みづくり（ファミリーシートを設置など）